

平成23年度 天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会

第5回 障がい班会議

～「障がい者の社会参加」を目標に、新たな企画をすることが決まりました！～

日時：平成24年2月1日（水）午後1時30分～3時30分

場所：区在宅サービスセンターゆうあい2階 多目的ルーム

障がい班では、地域での障がい者との交流と障がいの理解・普及、障がい者施設と地域のつながりづくりを目的に、パラリンピック公式種目である「ボッチャ」というスポーツを地域で進めています。今回は、平成24年1月23日（月）に行われた第2回大江地区ボッチャ大会について、パワーポイントを用いて、写真を多用しながら報告しました。本大会では、大江地区高齢者食事サービス利用者と社会福祉法人大阪府家内労働センター連合授産場の利用者が対戦しました。前回会議では、「ボッチャのゲームをするだけでなく、障がい者もっと交流を深められる内容にしてはどうか」という意見が挙がっていたため、本大会では、障がいのある方と準備運動でスキンシップをとったり、ゲーム終了後には、連合授産場コーラス部による歌と踊りが披露されたり、大江地域と利用者の間でプレゼント交換が行われたりと、より交流を深めるような内容となったことが報告されました。

また、平成24年2月26日に行われる区民ボッチャ大会において、ゲームの勝敗に関係なく「障がいのある方をはじめ、あらゆる世代が気軽にボッチャに楽しみ競技に参加することにより、地域における障がいへの理解促進や地域のつながりをより一層深めるとともに、ふれあいのあるあたたかなまちづくりを目指す」という本大会の目的に合った、きらりと輝いていたチームに対し、「かがやき賞」を贈呈することが決まりました。

また、来年度から進められる第3期区地域福祉アクションプラン（平成24年度～26年度）に向けて、今までの取り組みを振り返り、課題について議論したところ、「障がい者の社会参加」という目標を押さえた活動をもっと進めていくため、障がいのある方の社会参加の場づくりとして「出前発表会」の開催支援をしようという新たな企画が決まりました。例えば、障がい者施設コーラス部の利用者がコーラスを披露できるような場を提供するなどの支援をする予定です。

その他、前回の会議の続きである「相談窓口が分かりやすいシンプルな広報づくり」については、色覚障がいのある方等に意見を聞いて、見やすい色を採用することを確認しました。すでに広報の配布も行い、地域自立支援協議会が主催した第1回障がい者相談会（平成24年1月18日）において、相談に来られた障がい当事者2名に障がい班で作成した相談窓口の広報とふれあい喫茶の広報を手渡したことも報告しました。ふれあい喫茶については知らない方もおり、PRする機会となりました。

最後に、「地域で障がいについて理解を深めるための勉強会の実施」について、第2回目は大江地区のふれあい喫茶に障がいのある方に来ていただき交流を促すような勉強会をすることが決まりました。

